

PURE CHABLIS

One grape
One region
One of a kind

市場情報

日本

2年連続の豊作が日本市場のシャブリ回帰を後押し



数字で見る日本のシャブリワイン（2023年）

輸出額世界第3位

輸出量世界第4位

輸出規模：165万本（対2022年比5.8%増） - 1920万ユーロ（対2022年比9.8%増）

- 数量内訳 ▶ シャブリ・プルミエ・クリュ/Chablis Premier Cru と
シャブリ・グラン・クリュ/Chablis Grand Cru：15%
▶ プティ・シャブリ/Petit Chablis とシャブリ/Chablis：85%

日本は世界第3位の経済大国の座をドイツに明け渡した。その背景には円安を始めとする様々な要因があるが、中でも年間100万人近い人口減少の影響は大きい。

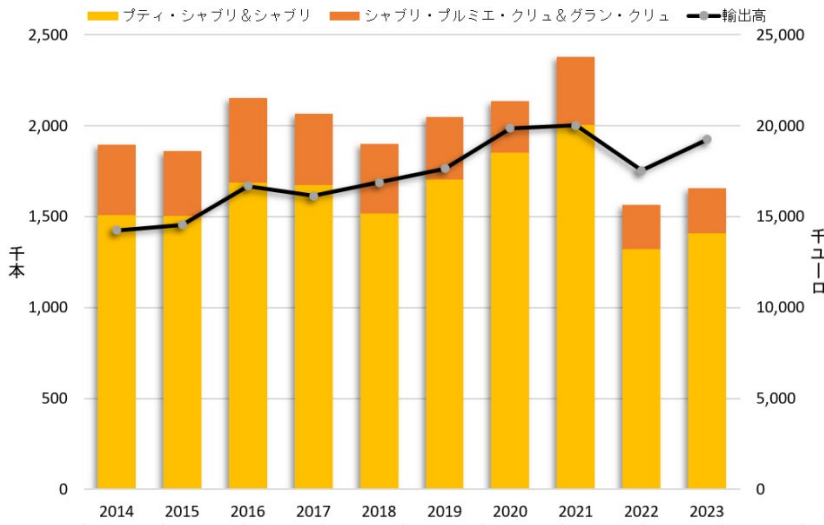
文化や嗜好、価値観などブルゴーニュ地方との共通点も多い日本では、この地方で生産されたワインへの根強い人気がある。2023年に日本に輸出された原産地表示のあるフランス産白ワインのうち、ブルゴーニュ/Bourgogneワインが占める割合は総量の45%、総売上高の実に68%超。そして日本に輸出されたブルゴーニュ産白ワインの45%（数量ベース）を占めるのがシャブリワインである。

生産量の増加を受け輸出が拡大

非常に難しい年となった2022年を経て、シャブリワインに対する日本人の関心が再び戻ってきた。ここ2年間の豊作を受け生産量が増加したことで、2023年の輸出は再び上向きに。ただしその量は依然として過去5年間の平均に遠く及ばない（数量ベースで22%減）。こうした状況下、シャブリの全AOCで輸出が増加に転じている。

シャブリワインの対日輸出推移

(出典：Douane DEB&EMEBI+DAU/BIVB)



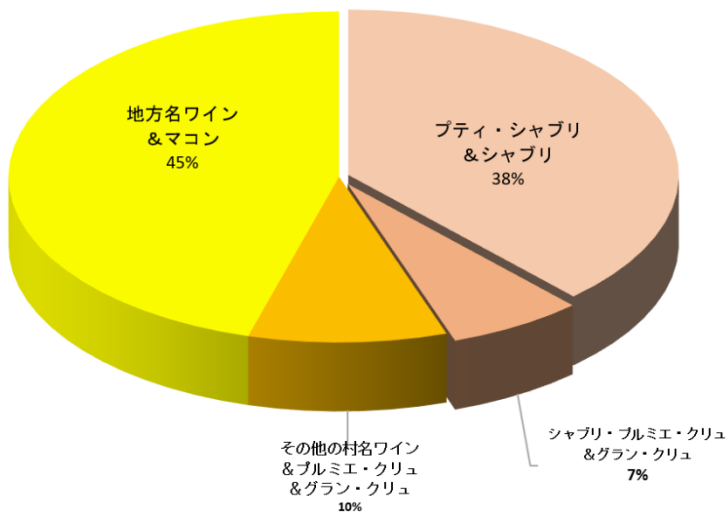
▶ プティ・シャブリとシャブリは輸出量 7%増、輸出額 9%増。

▶ シャブリ・プルミエ・クリュとシャブリ・グラン・クリュは輸出量 1%増、輸出額 12%増。

日本でシャブリ抜きにはブルゴーニュワインを語れない

ブルゴーニュ白ワインの2023年対日輸出量内訳

(出典：Douane DEB&EMEBI+DAU/BIVB)



2023年、全ブルゴーニュワイン（赤、白、ロゼ）に占めるシャブリの割合は、輸出量の26%（日本に輸出されるAOCグループとして第3位）、輸出額で見ると14%となった。

ブルゴーニュ産の白ワインは、日本市場で変わらぬ高い人気を博している。中でもシャブリワインは日本に輸出されるブルゴーニュ産白ワインの45%（数量ベース）を占めるなど、その人気に大きく貢献している。

ワイン・インテリジェンス社の調査（2023年）によると、シャブリワインは日本における売れ筋のワイン産地ランキングで第9位にランクイン。シャルドネ/Chardonnayが好まれ（白ワインの筆頭セパージュ）、同ランキングでブルゴーニュが第3位に登場している日本市場では当然の結果といえる。

高齡化するワイン愛好者

2023年、月1回以上ワインを嗜む日本人は2630万人。これは成人人口の25%に相当し、うち3分の2が毎週ワインを飲んでいる。ワイン・インテリジェンス社によると、このようにワインを定期的に飲む消費者の割合は2018年から2023年の間に12.3%減少した。

こうした消費者層の高齡化も進んでおり、56歳以上の占める割合は2018年の49%から2023年には55%まで増加。一方、ワインを定期的に飲む若者（20～34歳）は減少し、2018年の22%から2023年には15%という低いレベルに落ち込んでいる。

60歳以上の消費者は、他の飲料との比較でワインのことはあまり知らないという人が多い。一方、若者はワインへの関心が比較的高く、インターネット上での情報収集に長けていることもあって、年長者よりもワインの情報に明るいと感じているようだ。

ワインを定期的に飲んでいる1000人を対象に調査したところ、特に消費量の多いアルコール飲料は赤ワイン、次いでビール、白ワインの順となっている。2018年から2023年までこの順位に変動はないが、日本酒やウイスキー、クラフトビールなどの割合が徐々に増加している。

日本では昔から大小スーパーマーケットがワインの主要購入場所となっており、調査対象者の半数近くが過去6ヵ月間にスーパーでワインを購入したと回答している。ここ5年間、ワイン専門店での購入状況に大きな変化はないが、スーパーマーケットでの購入量は減少傾向にある。

レストランやパブ、バーなどでは、過去6年間安定してワインが消費されている。レストランにおける主なワイン消費者は27～42歳と60歳以上の年齢層。大方の予想どおり、ミレニアル世代（27～42歳）はバーやパブでの消費量が特に多い。

BIVB（ブルゴーニュワイン委員会）市場開発部門による経済短評 - 2024年3月

（出典：税関、BIVB、MIBD MARKET社、Wine Intelligence社）

プレス担当：ブルゴーニュワイン委員会（BIVB）

シャブリマーケティング・広報担当フランソワーズ・ルール（Françoise Roure）

Tél. : +33 (0) 3 86 42 42 22 – Fax : +33 (0) 3 86 42 80 16 – francoise.roure@bivb.com